

シンポジウム

# 〈書の芸術性〉の 伝統と未来

日時 2017年9月23日（祝・土） 13:00～16:30

会場 大東文化大学板橋校舎3-0111教室（3号館1階）

参加料 無料 ※どなたでもご参加いただけます

## 開催趣旨

この度、大東文化大学では書の芸術性をめぐるシンポジウム〈書の芸術性〉の伝統と未来を開催します。

中国から著名な専門家を招聘して、古代から現代、西洋と東洋といった様々な視点から、書の芸術性や書の未来について考えます。

専門的な内容を含みますが、書に対する理解を深め、魅力を再確認するよい機会となるはずです。入場無料、事前申し込みは不要ですのでお気軽にご参加ください。

※講演および座談会は中国語で行いますが、逐次通訳が有ります

## 基調講演



高建平氏  
(コウ・ケンペイ)

1955年、中国江蘇省揚州生まれ。スウェーデン、ウプサラ大学で博士号（美学）を取得。中国社会科学院文学研究院院長・国際美学協会主席・中華美学会会長。



邱振中氏  
(キュウ・シンチュウ)

1947年、中国江西省南昌生まれ。浙江美術学院書法研究生修了。中央美術学院教授・中国美術館専門家委員会委員・中国書法家協会学術委員会副主任。

主催：日本学術振興会科学研究費 美学・芸術諸学〔基盤研究C（一般）〕

「書の芸術性に関する術語と現代学者の解釈をめぐる比較研究」（研究代表者：河内利治）

後援：大東文化大学書道研究所

大東文化大学人文科学研究所「東アジアの美学研究班」

## プログラム

司 会：藤森大雅（大東文化大学書道研究所講師・科学研究費研究分担者）

通 訳：承 春先（大東文化大学人文科学研究所兼任研究員）

陳 達明（大東文化大学人文科学研究所兼任研究員）

13：00～ 【開会の辞】

門脇 廣文（大東文化大学学長・中国文学科教授）

13：15～ 【基調講演①】

演 題「西洋美学の審美観から見た中国書法」

高 建平（コウ・ケンペイ）氏

14：30～ 【基調講演②】

演 題「書法理論中の新概念」

邱 振中（キュウ・シンチュウ）氏

15：45～ 【座談会】

テーマ：〈書の芸術性〉の伝統と未来

登壇者： 河内 利治 邱 振中 高 建平（50音順）

16：30～ 【閉会の辞】

河内 利治（大東文化大学文学部長・書道学科教授）

## 申し込み・問い合わせ

事前申し込み不要。どなたでもご参加いただけます。

〒175-8571

東京都板橋区高島平1-9-1 大東文化大学書道研究所 藤森 大雅

TEL:03-5399-7345/FAX:03-5399-7346